

平成 29 年 上富良野町議会第 2 回定例会

一般質問 質問事項一覧

届出順	氏 名	質 問 事 項
1	12 番 中瀬 実	1 農地中間管理機構について 2 富良野地方アグリパートナー協議会事業について
2	11 番 米沢 義英	1 職員管理について 2 予約型乗合タクシーの充実について 3 保育料の負担軽減対策について 4 子どもの貧困対策について 5 第 6 次総合計画について
3	13 番 村上 和子	1 定住移住対策の取り組みについて 2 コミュニティスクール導入の取り組みについて

一般質問通告書(平成 29 年 6 月定例会)

氏名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
1 12 番 中瀬 実 1 農地中間管理機構について (町 長)	農業の構造改革を推進するため、改正農地法制度で農地中間管理機構による土地利用促進をめざし、平成 26 年 3 月に施行されたが、我が町における現在までの公募状況、利用権設定について、次の点を伺う。 (1) 個人、法人の利用権の面積と件数について。 (2) このことにより、農地の集積が推進されたか。 (3) 遊休農地対策に役立っているか。
2 富良野地方アグリパートナー協議会事業について (農業委員会会長)	富良野沿線、美瑛を含めた 6 農業委員会が独自で、後継者のパートナーを探す交流会をこれまで行ってきたが、次の点について伺う。 (1) 現在もサマーフェスティバルとオータムフェスティバルの 2 回行われているのか。 (2) 平成 26～28 年の 3 年間の参加状況（女性、男性）は。 (3) この交流会による、マッチングの数と成婚に至った数について。
2 11 番 米沢 義英 1 職員管理について (町 長)	(1) 金銭管理による不祥事により、職員に対し懲戒処分が行われたと聞くが、懲戒処分に至るまでの詳細を時系列的に、また、他に類似したようなことがあったのか、なかったのか伺いたい。更に、規範意識に問題がないのか、町としてどのように対処してきたのか、チェック体制を含めて今後どうするのか伺いたい。 (2) 職員を任命した町長の責任はないのか伺いたい。
2 予約型乗合タクシーの充実について (町 長)	予約型乗合タクシーの利便性を高めてほしいとの要望がある。 通院、買い物などで待ち時間などがあり、予約がしにくいなどのほか、祝祭日の運行、町内、郊外の利用料金を 200 円の均一にしてほしいとの声がある。 利用者アンケート調査を含め、改善が必要と考えるが、対応について伺いたい。
3 保育料の負担軽減対策について (町 長)	認定こども園を利用している子育て世帯にとって、保育料の負担軽減は切実な問題である。 北海道においては、保育所などを利用する第 2 子以降の 3 歳未満児の保育料を無償化する自治体へ補助制度を創設し

	<p>たが、町としてもその制度を活用し、保育料の改善を実施すべきと考えるが、対応について伺いたい。また、制度の内容、対象人数についても伺いたい。</p>
<p>4 子どもの貧困対策について (町 長)</p>	<p>子どもの貧困対策の実態調査を以前求めたが、今後検討するとの答弁であった。</p> <p>北海道においても、子どもの貧困対策推進計画を策定した。また、貧困対策の実態を調査する自治体には、必要な支援をすると述べているが、町として子どもの貧困の実態をどのように把握されているのか、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 第6次総合計画について (町 長)</p>	<p>町長は、物産館や防災機能を兼ね備えた複合的施設の構想があると述べている。</p> <p>また、町立病院にはスプリンクラー設備の設置が義務づけられ、更に庁舎の耐震化など、早急に対応を取らなければならない課題がある。いずれにしても、限られた財政の中で、どちらを優先するのか求められていると考える。第6次総合計画の策定の段階で、町民との懇談及びアンケートなどを踏まえた対応になると思うが、町立病院の改築が優先されるのではと考える。町長の見解について、伺いたい。</p>
<p>3 13番 村上 和子 1 定住移住対策の取り組みについて (町 長)</p>	<p>人口減少に伴う税収の落ち込み、多発する自然災害、全世帯対応型社会保障の充実の必要性、公共施設インフラの老朽化、上富良野町はこういった多くの問題を抱えている。中でも、人口増につながる定住移住対策の発想の転換を巡らせ、平成28年度は、移住8件15人の実績があるが、スピーディーな展開で1人でも2人でも更に効果を上げる取り組みをしてはどうか、以下の3点について伺う。</p> <p>(1) 移住準備住宅は10棟あり、そのうち4棟は利用されているが、1棟はボイラーが壊れている状況にある。この住宅は、元教員住宅から普通財産として活用しており、築50年近いことから、建物の劣化がひどく、この住宅に固執することなく今の時代にあった建物「町有財産＝元江幌小学校」、民間の空き家の活用など考えてもいいのではないかと考える。</p> <p>(2) 定住移住の促進を図るために、上富良野定住移住促進連絡協議会の組織があり、そのメンバーはアパート組合、建設業組合、法人会、観光協会、JA、農業委員会、住民会、商工会の8団体で構成されているが、メンバーの中に銀行や不動産業、移住者の代表の声（子育て世帯等）を加えて</p>

	<p>はどうか。</p> <p>年1回の会議の開催だと聞いているが、もう少し回数を増やし、定住するときの仕事、就職の情報交換などの連携を密にしてはどうか。</p> <p>(3) 定住移住しようと考えている人に同一的な手法ではなく、子育て世帯の方が定住に向け住宅を求めている場合には、優先して民家のリフォーム50万～100万円など、子ども1人あたりの人数も考え助成をしてはどうか。</p>
<p>2 コミュニティスクール導入の取り組みについて (教育長)</p>	<p>平成29年度教育長の執行方針の中で、コミュニティスクール導入に向けて準備検討を進めるとあったが、その取り組み方法と考え方について、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 子どもたちを取り巻く教育環境は、地域社会のつながりや支え合いの希薄化、学校は子どもたちの学びの場のみならず、地域のコミュニティの核としての役割を果たすことが強く求められており、子どもたちの生きる力は学校のみでは育めない。</p> <p>学校・家庭・地域三者で子どもを共に育てる教育基盤醸成へとつなげるのがコミュニティスクールと考えるが、教育長の考えを伺う。</p> <p>(2) コミュニティスクールの導入はどのような手続きで行われるのか。指定する学校の運営に関して協議する機関として、学校運営協議会を設置しなければならないということだが、どのような人の取り組みとどのような役割を担うことになるのか。</p> <p>(3) これまでも、各学校においては学校評議員制度等による開かれた学校の推進に努めてきているが、コミュニティスクールとの違いはどのようなものであるのか。</p>